

初めて松本市民芸術館に行きました

2013年1月27日

澤田 繁 著

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvm.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

平成中村座「勘三郎さん最後の舞台」として注目された松本市民芸術館に行く機会がきました。

松本駅(清水高原から約40分)から東に延びるあがたの森通り(電車通り)を徒歩で10分のところにあり、建物は通りに面した北側が正面玄関で南北に縦長な建物となっています。

車で行ったので、歩いて7分くらいの実家に止めようと思いましたが面倒になり、写真にあるような主ホールのある南側の東にある有料駐車場に止めて南北ざっと180mくらいの長さを歩いて正面入口から初めて中に入りました。



入口を入ると2階に上がる緩やかな階段があり、右側には歩く歩道の昇り版が併設されていたので、早速利用しました。さすがに歩く人はいなかったのではとしました。

写真にあるよう右側の明かりとりがきれいにデザインされています、昇ったところから天神「深志神社」の後ろが見えました。深志神社には「八坂大神」など祭りが複数ありよくきたものです。実家から歩いて来ると



現建物の南側のところに池があり、そこを通りお宮に入って行った記憶があります。

この地は小学生の頃の遊び場で、電車通り側には民家があり、子供の目には広い広場が存在し、ここで「野球」をよくやり民家によく球を入れてたよな、巡回サーカスもよく来て、学校で連れいってくれたよな、宣教師テントもありちょっと怖かったよなとか、ふといろいろな事を思い出しました。

この後市民会館が今の建物の南半分の位置に建てられ「コンサート」には何度か行きました。北側半分は「ライラック公園」として整備されていきました。

受付があり、招待券を見せましたら記帳場所に案内されました。母の代理と言うことで1枚で2名様と言うことで夫婦で「松本交響楽団・ニューイヤーコンサート」を聞きにきました。

主ホールは座席の配置が良く(音響もベストと評価されてます)居心地は良く、演奏はシュトラウス一家の曲で私のイメージ(ウィーンフィル)のニューイヤー・・・でした。

アンコールの3曲が大いに盛り上がり終演となりました「ラデッキー行進曲」end。

